

アンケート調査概要について

1. 調査の目的

本調査は、より一層の子育て支援施策の充実に向けて、「第2期香取市子ども・子育て支援事業計画」の資料とするため、保育ニーズや子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、ニーズ調査として実施しました。

2. 調査対象および調査方法

調査実施日：平成30年11月

	調査対象者	対象者数	
1	就学前児童保護者	2,053人	・保育所（園）・認定こども園・幼稚園就園児は各所（園）を通じた配付・回収 ・未就園児は郵送配付・回収
2	小学生保護者	1,383人	・小学1～3年生を対象に学校を通じた配付・回収

3. 回収状況

	対象者	配付数	回収数	回収率(%)
1	就学前児童保護者	2,053人	1,478件	72.0%
2	小学生保護者	1,383人	1,156件	83.6%

4. 調査項目

(1) 就学前児童保護者

就学前児童保護者を対象とする調査は、国から利用希望の把握方法のひな形が示されており、内容としては、国から示されたひな形を基礎とし、市独自の質問項目を一部加えた調査を実施しました。

- ① お子さんご家族の状況
- ② お子さんの育ちをめぐる環境
- ③ 保護者の就労状況
- ④ 平日の保育所（園）や幼稚園などの利用状況
- ⑤ 病児・病後児保育
- ⑥ 土曜日・日曜日・祝日の保育所（園）や幼稚園などの利用
- ⑦ お子さんの一時預かり
- ⑧ お子さんの宿泊を伴う一時預かり
- ⑨ 子育て支援事業の利用状況
- ⑩ 小学校就学後の放課後の過ごし方
- ⑪ 子育て全般

(2) 小学生保護者

小学生保護者を対象とする調査は、就学前児童保護者の調査票を基礎とし、市独自の質問項目を一部加えた調査を実施しました。（国指定なし）

- ① お子さんご家族の状況
- ② お子さんの育ちをめぐる環境
- ③ 放課後の過ごし方
- ④ 子育て全般

5. 調査結果まとめ

(1) 保護者の就労状況について

保護者の就労状況については、就学前児童及び小学生の保護者の双方とも父親はフルタイム、母親はフルタイムやパート・アルバイトで就労している割合が、前回の調査時よりも多くなっています。就労に対する意欲が高く、育児をしながら就労を継続したという家庭が増えていることがうかがえます。

また、現在は就労していないものの、近い将来に就労したいと考えている母親も多くなっています。

(2) 保育所（園）や幼稚園等の施設・サービスの利用状況と利用希望について

就学前児童については、両親ともに就労している家庭が多い状況を反映し、現在利用している保育所（園）や幼稚園等の施設サービスと今後定期的に利用したい施設・サービスはともに「保育所（園）」、「認定こども園」が多い状況にあります。現在の利用割合に比べて、今後利用したい施設としての回答が多いのは「認定こども園」です。これは、近年、市内に保育所から認定こども園に移行した施設が増えていることが要因と思われます。

また、その他のサービスについては、幼稚園型預かり保育や病児・病後児保育への利用希望が多いことがうかがえます。

全国的な傾向と同じく当地域においても核家族化の進行や共働き世帯、ひとり親家庭の増加等により、今後も施設やサービスの利用状況は伸びていくことが考えられます。将来の需要を見極めつつ、安心して利用できる子育て環境の構築が求められています。

(3) 放課後の過ごし方について

放課後の過ごし方の現状や利用意向については、就学前児童と小学生ともに、「自宅」、「放課後児童クラブ」、「習い事・塾・スポーツクラブ」が多い状況です。特に「放課後児童クラブ」については、保護者の就労状況の変化もあり前回調査に比べて割合が多くなっています。

(4) 子育て支援全般について

子育てのしやすさについては、就学前児童及び小学生の保護者の双方とも肯定的な意見を否定的な意見が上回っており、その差は前回調査と比較して大きくなっています。

子育てしやすいまちだと思ふ理由は、「自然環境がよい」、「地域の人や知人が何かと助けてくれる」などの回答が多い一方で、子育てしやすいまちだと思わない理由は、「子どもの遊び場が少ない」、「保育サービスが不足している」などの回答が多くなっています。今後重要だと思ふ子育て支援については、前回調査同様に「乳幼児の遊び場（公園や児童館など）の整備」、「小児医療体制の充実」、「子育てへの経済的支援の充実」、「放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実」などの回答が多くなっています。今後も、すべての子どもが健やかに成長し、切れ目なく安心して支援を受けることができる環境づくりが重要です。